

Weekly コラム

令和 5 年 6 月 13 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

必見！日本の貿易事情

戦国時代1467年～1602年:1543年にポルトガル人が種子島に来航し、鉄砲を伝来するとポルトガルやスペインとの間に南蛮貿易が行われるようになりました。

江戸時代1603年～1867年:1635年日本人の渡航が禁止され、鎖国令が出たと言われています。1859年には横浜や長崎など外国との貿易が再び始まりました。

明治初期1870年代:開国した日本は、近代的なヨーロッパやアメリカに追いつくために富岡製糸場などの工場を建設し、生糸や茶など一次産品が海外へ輸出するようになったと言われています。

日清戦争1894年～1895年:綿工業などが発展し、生糸や絹織物、綿糸や綿織物が急速に生産され、これが二次産品となりました。このころ政府の援助を受け政商となったり、官営工場を払い下げられた財閥が現在の総合商社の前身になっているそうです。

日露戦争1904年～1905年:日清戦争での賠償金を使い官営の八幡製作所を作り、重工業などの機械や鉄鋼などが発達していきました。

第一次世界大戦1914年～1918年:ヨーロッパが戦場となり、軍事の物資やアジア向けの綿織物や綿糸など輸出が目覚め国内景気が良くなったと言われています。

昭和初期1930年:不景気から脱却するため政府は産業の合理化を進めていきました。円の為替相場が下落し、国際競争力が高まったので、輸出を拡大したそうです。1933年に

イギリスを抜いて綿織物では世界一位となったそうです。

第二次世界大戦1939年～1945年:日本は国際連盟から脱却し、国際社会から孤立するようになりました。軍の産業への物資が優先となり、輸出入が伸び悩みました。

戦後の復旧期1945年～1950年:GHQ の占領下で、民主化や自由化に財閥が解体されましたがサンフランシスコ平和条約により解体された財閥が再統合されました。

高度経済成長期1960年代:高度経済成長期に入ります。日本経済は成長期に入り、重化学工業が勢いよく発展していきます。中でも造船業は世界一位となったそうです。

石油ショック1970年代:資源の開発輸入やLNGなど石油の代わりとなるエネルギーの開発が、この頃行われるようになりました。

低成長期1980年代:80年代後半、アメリカが状況を改善するため、円高ドル安に誘導することになりました。円高と低成長で、輸出しても利益がうすく、メーカーは商社に対して輸出入の際にかかる手数料を引き下げたり、商社を通さず自力で輸出するメーカーもでてきたそうです。

インターネットの商用化1990年:商社が次々にIT業界へ参入し始めました。

現代の2000年代:生産拠点を海外に移す企業が相次ぎ、競争が激化し、最近ではハイテク製品や繊維品は中国から輸入するようになり、自動車産業が輸出品として優位に立ち、輸出品の第一位となりました。今後もITの急速化が進み、世界との競争力が激化していくことは避けられなさそうですね。

記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX 不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。